

## 《2001年4月23日 定例社長会見 要旨》

①

質問： 4月新番組の評価は。

萩原専務取締役：

土曜日21時放送の「明日があるさ」の1回目が 29%というスタートをいたしました、これはもちろん、今期の全局のドラマのスタートの中でトップのスタートでございます。日本テレビといたしましては、歴代第2位ということで、80 年に「熱中時代」がトップで 34.1% という記録を出しまして以来です。

それから全部の局の1回目のドラマの視聴率をいたしましても、1位は「熱中時代」ですが、「明日があるさ」の 29%は第9位ということで今回の土曜日のドラマは非常に好調なスタートをさせていただいた訳でございます。

期末期首に関しましては、週刊誌等々で日本テレビがフジテレビに追い上げられて、あたふたしているというような記事が出ておりますが、ちっともあたふたしておりません。先週は野球の関係で、プライムをコンマ1の差で落しましたけども、その前は連続6週3冠王を取っております。特筆すべきは期末期首編成の3月終わり2週と4月の1週目。この3週間、全部私共が3冠をとっております。これは、当社の記録に無いことでございまして、やはり通常期末期首編成の3週間というのは各局バラバラになります。期末期首編成にあたる3週間を全部日本テレビが3冠が取れたということでございまして、これは、画期的なこと言ってもいいのではないでしょうか。

質問： 向井亜紀さんを起用した「レッツ」にはどのような評価を？

萩原：

「レッツ」の数字はルックルックの数字に比べまして、少しだけ低いようでございます。やはり、ワイドショーの数字というのはそう簡単に、上がるものではありませんので、これぐらいの数字で推移をして、いろいろ手直しをしていくうちに、上がっていくのではないかなど、期待をしているところでございます。

質問： 「明日があるさ」なんですが、どうしてこれだけの数字が取れたと分析していますか？

萩原：

CMが浸透していたというのはあると思います。やはり“明日があるさ”の歌がCMで

かなりヒットしていたところへ「明日があるさ」に出ている連中がレコードを出しましてですね、これが、ヒットになっている訳で。一種、このCMを含めて、社会現象的追い風になっていたところへ、いいタイミングで私共のドラマスタートしましたんで、そういう意味で言えば企画の勝利かなと、いう感じです。多少、追い風についてたということもあります。そのへんがヒットの原因かなと考えております。

②

質問： ジャイアンツ戦なんですが、視聴率的には乱高下を繰り返しています。この要因を含めてどのように見ているか。

氏家社長：

別に、心配とかそういうことは無いですよ。今週はフジテレビさんのジャイアンツ戦にやられたが、だいぶ味方してもらったからたまには敵にまわしてもいいかって感じだよ。

質問： 大リーグ人気の影響は。

氏家社長：

大リーグの視聴率はまだはっきり出てないんだけど、BSやなんかが多いですからね。出ていないんだけど、時々地上波で流すやつは4%とか、3%とかその程度のものですからね。それに影響を受けているとは思えませんね。

質問： 日本のプロ野球人気にはまったく陰りが無いと？

氏家社長：

この間も色々と話をしたんだけど、日本の選手が出て行くということに関してね、日本が空洞化するという意見が一方にあるんで、果たしてそうだろうかということを議論したんですけど、私自身は例えばその、サッカーの人気とか、プロゴルフの人気の盛衰とかを見ていますと、岡本綾子さんとか、樋口会長とか一今の会長ですね、あの人はメジャー取ってるわけだから。それなりに活躍している人が出かけているから、国内の人気も上がっているんですよ。

日本のプロ野球の選手が行けば、記録に挑めるくらいのものがあるでしょ、そういうことでね、逆にそれが跳ね返ってくるから、国内の人気というのは高まる。ティーン層とか小さい人は世界見てますからね、今。これは、世界的にいけるんだってことで、高まる。

そういうプラスがあると思うんです。ただね、おっしゃる通りね、次から次にでていっちゃってね、これはね えらい事ですよね。

質問： 視聴率今後はまた盛り返してくるんでしょうか？

氏家社長：

落ちはしないでしょう。

質問： 他局ですけど、ジャイアンツ戦で 11%という数字が出たりして驚いてしまったんですけど、要因っていうのは？

氏家社長：

試合が面白くなかったことと、我々が裏番組に強いのをぶつけていったのが影響したんだけど、そう毎回強いのぶつける訳には行かないからね。こっちもジャイアンツにぶつければ、ジャイアンツを潰せるかもしれないけど、全戦そんなばかばしいことも出来ませんからね。結局は潰しにはかかるから、他局のやつも、今度みたいに、CXみたいに、平均して 21%くらい取っているからね。

③

質問： 民主党のCMについてなんですが、政党 CM に対する基本的な考え方。

氏家社長：

あれはね、僕のところまであがってくるような問題じゃないんだけども、うちの基準というのは他のテレビ会社より、ちょっとキツメかなというのはあります。今までだって自民党なんかには、随分修正を申し入れてね やらしてますからだから同じことなんですね。なんて言いますかね、今回は活字になったもんだから目立っただけのことだと思います。

④

質問：新年度に入って決算目前だと思うんですけども、4月の状況、これから夏に向けての営業分析など…

氏家社長：

6月まではね、明らかに去年並です。あるいは、去年並よりちょっといいかなという感じです。あのね、ちょっと5月が落ちているんだけど、6月が来ているんですよ。

平均すると、そういうふうになりますが、7月以降がね あたりがわからない。来月早々になると、7月のあたりがわかつてきますから、そのあたりで本当に景気が落ちているのかどうかというのを、我々は判断しなくてはいけない。先行指標なんですよ、だいたい経験的に言うと、5~6ヶ月先の先行指標ってことになっているんです。もし、仮に下降段階に入るとすると、秋から暮にかけて非常に大きな、困難な情勢が起こってくるかと思います。だから、私は個人的には注目していますよ。

質問： 小泉新政権について…

氏家社長：

私はね、小泉さんの言っている、もう金融が限界だと。それを直すためには、構造改革を、アメリカがやったみたいに、痛みを伴うけれどもやったみたいな形ですね、収益力にある構造改革にもって行く。

小泉さんの言っていることもよく聞いてみると、今ただちに税制を締めてね、それで均衡財政を保つてるという考え方をしているのではなくて 今 30兆あるからね、毎年出るんですよ国債ってものは。その中で有効につかってね、経済の構造改革もやって行こうという、考え方なんだね。どうも始め非常に抽象的だったからよくわからなかつたんだけど、選挙戦の演説でしゃべっていることを、全部じゃないけど各誌読み比べてみると、そういう主張ですから。

今の予算の枠の中でも、使い方によっては良くなるって可能性があるんですよ。それをね、小泉さんは言ってるんだなって感じはしますよ。それならば、まあまあいいだろうと。だから、30兆円を0にしろなんて言ったら大変だからね、そういう程度ならね、いいんじゃないですか？ 660兆円だっけ、借金があるでしょ、世界一でしょ。構造改革的に、投資効果の高い方向に、高い方向にと財政資金が持つていけばね、それほど経済っていうのは、かえってプラスにんるんじゃないかなって気がしますよ。

⑤

質問： BSの方の営業の、夏に向けての営業というのは？

漆戸社長：

BSの方は、まだ視聴率というのがでていません。それからもちろんその前に、どれだ

け受像機が普及しているかという問題もあります。で、それに伴って媒体の効果という、そういうことがまだまだ、分からぬ状態ですからね。現在はまだまだせいぜい 150～160 万の媒体ですから、それに対する価値からすると 12～3 月みたいなかたちでの、広告主の出稿というのは必ずしも続きません。4 月以降は各社落ち気味なんじゃないですか少し。

各社とも今、一生懸命、受像機の普及に力を入れようということで、これは我々民放だけではなくて、NHKさんも含めて BS デジタル放送の業界全体として今、6 月のボーナス商戦に向けて、買っていただこうというキャンペーンを、5～6 月にかけて、一斉に展開して行くと。それから秋に向けて、それから 1 周年と、ロングレンジのキャンペーンを考えています。

## ⑥

質問：110° CSについてですが、このプラットフォーム事業、準備段階なんで進展がありましたら。

氏家社長：

今、最終的に詰めてますから、もうじき…。これ私の会社 1 社でやっている訳では無いし、これからも一緒にやろうなんて方のあるんで、それまとめてるのが…おそらく公式発表が、連休明けじゃないかと。

質問：CS 日本に関しては？

久保メディア戦略局長：

CS 日本に関しては、順調にというか、非常に苦しんでいます。日本テレビとして何チャンネルを番供として、CS 日本でやるか。それから、CS 日本 自身でどういう番供でやるか。それから CS 日本の大株主の一人であります読売新聞社のプレゼンスをどう確保するか、ということで、CS 日本及び日本テレビ、読売新聞社と協議をしているというところですね。

氏家社長：

大体新聞社系が多いんだけど、新聞社および既存のテレビ系が多いよね。だからね、それぞれ皆さんの関係しているところだけども、同じ悩みと希望と、持ってると思う。このあたりでどういうふうな結論を出すかっていうのが、今後の動きを決めていくんじゃないかな。まあ、成長するとかさつぶれちまうとかさ。

質問：だいたいコンテンツはどういうものを、どういう形で出していくかといった概要が明らかになってくるのは、いつ頃になりそうなんですかね。

久保局長：

申請をした時の申請書は、本年 10 月から放送開始となっていますが、難しいと思います。来年春からではないかと思います。

⑦

質問：FIFAのマーケティングを代行しております、ISLの破産宣告が、事実上破産したことになっているので、W杯の放送権、放映権その他にどんな影響があるんだと非常に心配なところではあるんですが。

漆戸社長：

ご心配いただいて、ありがとうございます。あの、実は日本の放送に関しては、日本だけじゃなくて放送権に関してはいっさい問題はありません。もし、最終的にISLが潰れたという状況にはなるわけないんで。

我々のほうの契約先は直接ISLではなくて、日本については電通が契約先になる。我々JCと電通が契約している訳ですから、仮にどんな事態がISLに生じたとしても、電通としてはそれをきっちり我々に対する、放送権者に対する義務は履行するということは、再三確認されておりますんで、このことに関してはまったく、問題無いと思います。

質問：JC の結んだ契約自体にも、変更はないということですか？

漆戸社長：

無いです。ただ、JC の方は本契約はしていないです。覚書の段階ですから。今、それ以後、本契約をしようと一生懸命つめている段階です。

⑧

質問：自民党のメディア規制の件なんですが、報道番組検証委員会というのができましたり、いろいろ動きがあるんですが…今後どのように行って行くと思いますか？

氏家社長：

引き続き強まると思います。まあ、小泉君はそういうこと無いと思いますけど。全体のトータルとしては、強まると思います。

質問：自民党の報道番組検証委員会はすべての番組をモニターでチェックするようになってまして、ザ・ワイドですとか、事件がありましたけれども、テレビ側としてはどんなふうに受け止めてますか。

氏家社長：

あれは、また、困っちゃったな。事実を間違えちゃったんだね。今はっきり言ってね、一番表現と言論の自由について真剣に考えているのは私じゃないかと思うね。昔を知っていますから。いかに戦争時代が言論が弾圧されて大変だったかが、中学生くらいになるとわかるわな。そういう時代にもどっちやいけないって気持ちがあるからね。この問題、規制しようとする側も、規制される側も、そのくらいのこと知らないから。一つでも足がかりを作れば、その足がかりっていうのがどんどんどんどん拡大してっちゃって、どうらいことになるぞというのが、僕の主張でね。それはもう歴史の教えているところなんですよ。

以上